

使用上の注意 詳しくは、商品に同梱してあります取扱説明書をご確認ください。

1. 適用可能回路電圧

漏電ブレーカには使用可能な電圧範囲があります。必ずこの範囲内でご使用ください。

定格使用電圧 (V)	適用電路電圧例 (V)	使用可能電圧変動範囲 (V)
100, 110	100, 110	80～121
100－200	100, 110, 200, 220	80～242
200, 220	200, 220	160～242
100－200－415	100, 110, 200, 220, 240, 254, 265, 380, 400, 415, 440	80～484
100/200, 110/220 (単3)	100/200, 110/220	160～230
100-100/200-200	100, 110, 200, 220, 100/200	80～242

2. 逆接続

ブレーカに「電源側」と「負荷側」の区別がある機種は逆接続ができません。必ず表示に従って接続してください。逆接続不可の機種において逆接続しますと、ブレーカが動作した場合、トリップコイル焼損等の事故につながりますのでご注意ください。また、過電流引外し方式が完全電磁式のブレーカで逆接続にて短絡事故が起きた場合、自動遮断後にブレーカ内部の絶縁が低下し再度事故につながるおそれがありますのでご注意ください。

3. 動作

ブレーカの動作により電気の供給が長期間停止すると支障が出る場合(養殖場等)は、用途に合わせて警報スイッチ仕様、補助スイッチ仕様をご検討ください。

4. 取付方向

ブレーカは鉛直面取付が基本です。
熱動式、熱動電磁式の場合は、その他の取付面でも問題はありません。
完全電磁式のものにおいては、鉛直面取付(10°以内)以外の取付では特性が変化しますので、ご注意ください。

5. 標準使用状態

- ブレーカは次の標準使用状態でご使用ください。
- ・周囲温度は－10～40℃の範囲内。ただし24時間の平均値は＋35℃を超えないものとする。
 - ・標高2000m以下。
 - ・相対湿度は45～85%の範囲内。
 - ・異常な振動及び衝撃を受けない状態。
 - ・過度の水蒸気、油蒸気、煙、じんあい、塩分、腐食性物質等が存在しないふん囲気。

6. ソルダレス端子への直付接続について

- ・より線はほぐして、芯線をそろえてから接続してください。
- ・より線のハンダ上げはしないでください。また、多数本の電線を同時に接続しないでください。
- ・電線の絶縁被覆をかまない様に接続してください。
- ・機器用電線など、細かいより線を使用する場合は、棒(板)圧着端子をご使用ください。

7. 端子ねじの適正締付トルク

表面形

ねじ径	ねじ頭形状	締付トルク (N・m)
ソルダレス (M5)	十字穴付なべ小ねじ	1.6～2.0
M5	十字穴付なべ小ねじ	2.0～3.0
M6	十字穴付なべ小ねじ	4.0～5.0
M8	十字穴付なべ小ねじ	5.5～7.5
M8	六角ボルト・六角穴付ボルト	8.0～13.0
M12	六角ボルト・六角穴付ボルト	40.0～50.0

裏面形・埋込形

ねじ径	スタッド形状	締付トルク (N・m)
M6	丸スタッド	2.7～4.5
M8	丸スタッド	6.9～10.8
M10	バースタッド	14.7～19.6
M12	バースタッド	31.7～42.8

8. 適正圧着端子

呼び断面積	M5	M6 (60A)	M8	M12
5.5mm ²	R5.5-5	—	R5.5-8	—
8mm ²	R8-5	—	R8-8	—
14mm ²	R14-5	R14-6	R14-8	—
22mm ²	—	22-S6	R22-8	—
38mm ²	—	—	JST38-S8	R38-12
60mm ²	—	—	—	R60-12
100mm ²	—	—	CB100-8	R100-12
150mm ²	—	—	CB150-8	R150-12 RD150-12 SD150-12
200mm ²	—	—	—	R200-12 RD200-12 SD-200-12
325mm ²	—	—	—	JST325-12 RD325-12 SD325-12